



東京福井県人会
創立 1898(明治31)年

東京福井県人会報

東京福井県人会
平成22年11月1日(月) 発行
発行責任者 理事長 山内高嘉



戦後六十五年に思う
会長 大和田 潔 (敦賀市)

この文章を書いている頃は、
ちょうど戦後六十五年というこ
とで当時のことがいろいろと新
聞でとりあげられました。

内地的な大変でした。多くの都
市は、空襲によって廃墟になり
ました。広島、長崎では、原子
爆弾まで落とされました。



敦賀空襲の罹災区域
一九四五(昭和二十)年七月二十深夜の空襲で
市内の約七割(四一・一九)が焼失しました。
(敦賀市戦災復興史)



新副会長 御挨拶
朝岡 勇 (福井市)

私は、福井市左内町で育ち、
橋本左内の銅像のある足羽小学
校で「啓発録」を学び、中学校
で昭和二十年七月の戦災を、高
等学校で、昭和二十三年五月の
福井震災を経験し、東京で昭和
四十二年に、独立して会社を設
立して、四十五年を経ました。

「啓発録」
本書は、26歳で安政の大獄に惜し
き生涯を終えた幕末の先覚、橋本景
岳先生の、遙かに時代を超えた人物・
学問・識見を知る為に重要である全
文等の一編。



新入会員名 (H21秋季総会以降)

- 池田 和子 福井市
五十嵐 直樹 坂井市
岩崎 雄大 鯖江市
小野寺 昭憲 福井市
齊藤 真紀 洲本市
芝田 美昭 敦賀市
滝田 庄次郎 坂井市
田中 由美 坂井市
辻 嘉右衛門 鯖江市
土森 俊秀 敦賀市
中井 俊郎 越前市



御挨拶
福井県知事 西川一誠

道の整備が不可欠であります。
特に、北陸新幹線については、
国において新規格工決定に向け
た検討を急ぎ、敦賀までの認可
を確実に実現すべきであると考
えています。

最近の福井県に関するトピッ
クスといたしましては、皆様も
ご承知のとおり、去る六月に
APECエネルギー大臣会合が
福井県で開催されました。

一昨年からスタートした「ふ
るさと納税」については、昨年
度も七四九件、六八〇万円余
りの寄付が寄せられ、引き続き
全国トップクラスとなっております。



福井県が今後十年程度を見据えた
「ふるさとの未来ビジョン」の案を示し
た県内市町長との政策懇談会
福井県庁

事務局より お願い

一、会費納入のお願い
当会の会費は三〇〇〇円で、
現在の会員数七九一名(9/30
現在)、そのうち会費納入者は
一七二名であります。会費未納
の方は、次の口座に振込みをよ
ろしくお願いします。

福井紙業株式会社

代表取締役社長 椿原慶二
本社営業所 〒101-0051
東京都千代田区神保町2-46

前田建設工業株式会社

代表取締役社長 小原好一
〒102-8151 東京都千代田区富士見2-10-26
電話 03(3265)5551
FAX 03(5276)5161

橋本電気株式会社

取締役会長 橋本義雄(福井市出身)
相談役 荻田昌宏(福井市出身)
本社 〒170-0004 東京都豊島区北大塚2-20-4
電話 03(3915)3121
支店 〒910-0851 福井県福井市米松2-1-25
電話 0776(54)7770

# 北陸新幹線 促進大会

## 剰余金、延伸財源に

### 西川知事

#### 「新規着工優先を」

福井県など沿線十都府県でつくる北陸新幹線建設促進同盟会の同幹線促進大会が、千代田区のホテルで開かれた。

西川知事は「鉄道建設・運輸施設整備支援機構の剰余金に整備新幹線に活用すべきだ」と強く強調。金沢―敦賀などの新規着工に優先的に充てるよう求めた。大会には沿線の関係者ら約三四〇人が参加した。

西川知事はあいさつの中で、概算要求での新規着工区間の明示は困難との見通しが示されていることに関連し「国土交通省が今夏迄としていた新規着工区間の決定について、政府は約束を守るべきだ」と強調。「一年以内に開業する既着工区間の貸付料や剰余金は、整備新幹線の財源に確保するもの」と新規着工への活用を訴えた。

西川知事はあいさつの中で、概算要求での新規着工区間の明示は困難との見通しが示されていることに関連し「国土交通省が今夏迄としていた新規着工区間の決定について、政府は約束を守るべきだ」と強調。「一年以内に開業する既着工区間の貸付料や剰余金は、整備新幹線の財源に確保するもの」と新規着工への活用を訴えた。



北陸新幹線促進大会  
千代田区のホテル

## 敦賀港 重点港湾に 国交省方針 国際競争力を強化

国土交通省は、全国に一〇三ある重要港湾のうち、来年度以降に岸壁などの施設を集中的に整備する「重要港湾」に、敦賀港（福井県）などを指定した。

敦賀港は、福井県と山梨県にまたがる大型船舶が接岸可能な、今秋には同ターミナルが本格供用を開始した。

中国や韓国など北東アジアとの貿易で時間的な優位性があり、福井県は先に発表した国への重要提案・要望の中でも重点港湾選定を最重要事項に挙げていた。選定方針について、前原国交相は「原則として一県一港」と説明していた。

# もんじゅ運転再開

## 県民「情報公開徹底を」

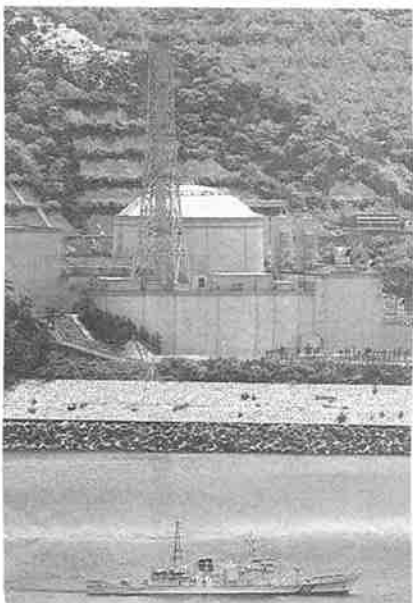
14年5ヶ月ぶり

日本原子力研究開発機構は、五月六日午前、一九九五年のナトリウム漏れ事故で停止していた高速増殖炉「もんじゅ」(敦賀市)の原子炉を起動し、十四年五ヶ月ぶりに運転を再開した。

八日には原子炉で核分裂が連続して起きる臨海に達し、性能試験(運転の第一段階となる炉心確認試験)は七月下旬まで続けられた。

現するかは不透明だ。衝撃的なナトリウム漏れ事故、現場映像のビデオ隠しや虚偽報告、運転再開延期の繰り返し、数々の曲折を経て高速増殖炉「もんじゅ」が運転を再開した。六日、県民からはエネルギーをめぐる研究開発への貢献や地域経済の活性化を理由に、理解を示す声が多く聞かれた。

一方、安全面を不安視したり、情報支援の撤退を求める声が多く聞かれた。日本原子力研究開発機構の運営におお敵しい目を向けた。ただ「再開といってもピンとこない」関心がない



運転を再開した高速増殖炉もんじゅ=敦賀市

この声が大半で、県民の理解はほど遠い状況が物語る。地元敦賀市では安全面や風評被害を心配する声があるもの、おおむね冷静に運転再開を受け止めた。

# 套堂に左内像完成

## 西川知事や区民60人祝う

県が荒川区へ 原型も寄贈

幕末の福井藩士、橋本左内の墓がある縁で福井県と交流を続けている荒川区で、左内の墓を長年覆い守ってきた套堂に納める左内のブロンズ座像が完成。套堂が移築されている同区南千住の荒川ふるさと文化館



套堂に安置された左内のブロンズ像をながめる区民  
=荒川ふるさと文化館 荒川区南千住

で三月二十三日、除幕式が行われた。併せて、ブロンズのモデルとなった座像が同区に寄贈された。

県立歴史博物館は「橋本左内先生座像」(高さ約七十七センチ)を所蔵しており、一九七〇年に樹脂製の座像が何体か複製された。荒川区はこの座像を原型にして、伝統的な鑄造技術の同区の無形文化財保持者である菓子満さん(七二)にブロンズ像の製作を依頼。原型の三倍以上ある高さ約五十七センチのブロンズ像を完成させた。

寄贈式には西川知事や同区の西川太一郎区長、地元商店街関係者ら約六〇人が出席。座像の目録を受け取った区長は「左内を縁にした福井県と荒川区の交流を大切にしていきたい」とあいさつした。

左内の墓は同区の回向院にあり、墓を風化から守るため福井県人らでつくる顕彰団体の初代福井県人会会長 今立裕氏らが関与した景岳会が寄付を出し合っして昭和八年に套堂を建てた。境内の再整備に伴い套堂は二〇〇八年に解体されたが、地元で保存の機運が盛り上がり、昨年三月に同館前に移築された。荒川区の登録有形文化財に指定されている。

## 小浜藩主の江戸登城道

### 前狭つり 越若まつり

## 神楽坂で酒井忠勝 お練り再現

県内の食文化や伝統工芸品を一同に集めた「ドーン」と福井 in 神楽坂 越前・若狭まつり」が、若狭湾観光連盟主催、福井新聞社共催、関西電力協賛が三日間、新宿区の神楽坂通りで開催された。



登城行列 神楽坂通り

最終日は小浜藩主・酒井忠勝が武士に扮した約五十人が「登城行列」を再現して通りを練り歩き、大勢の見物客や買い物客を楽しませた。

神楽坂は、江戸時代に酒井忠勝が構えた屋敷と、江戸城の牛込御門を結ぶ登城道として整備されたのが始まりといわれている。この縁で一昨年から同イベントが再開された。

また、メイン会場には坂道「フキライラトル」の全身骨格模型を提出したほか、会場の一角には本展の幕末の異人を紹介するパネル展示コーナーも設けられた。

## 18年福井国体内々定

### 日体協理事会で了解

日本体育協会は、五月十二日、二〇一八年の第73回国民体育大会の福井県開催に際して「開催申請書提出順序」を了解、二巡目福井国体が「内々定」した。今後は開催五年前の十三年に内定、同三年前に決定という流れをたどる。福井県と関係機関は十二年の内定に向けた本格準備に着手。各競技の会場地選定や競技力強化などの取り組みを急ぐことになる。



利恵産業株式会社

代表取締役 石田 弥

〒154-0024 東京都世田谷区三軒茶屋1-11-15  
TEL 03 (3410) 7111  
FAX 03 (3410) 8300

スパイススタジオ株式会社

代表取締役 朝岡 勇

〒173-0012 東京都板橋区大和町32-11  
TEL/FAX: 03-5375-5659

岩原良夫司法書士事務所

司法書士 岩原良夫

〒135-0002 東京都江東区住吉2丁目17番10号  
アレ・ドゥいわはら2F  
電話 03 (3633) 2554  
FAX 03 (3633) 1814

# 「フランフラン」中国本土に進出

## 高島郁夫(株)バルス社長 (鯖江市)

### 三菱商事と 現法設立

### 3年で10雑貨店 上海に1号店

雑貨店「フランフラン」を運営するバルス(代表取締役社長高島郁夫・鯖江市)は、三菱商事と組んで中国本土に進出。共同出資で現地法人を設立。三年で十店を出店し、売上高十億を見込む。国内市場の縮小を成長する中国で補う。

フランフランは、二十代〜三十代の若い女性を主対象に、手ごろな価格で鮮やかな色やデザイン性の高い雑貨や家具を販売。商品の並べ方や販促物を月一度は変えるといった手法も支持され、一九九二年に一号店を出店して以来、現在は国内には九十店を展開している。

中国・上海に設立する現地法人は「BMチャイナ(仮称)」で、資本金は一億五千万円。バルスが三分の二、残りを三菱商事が出資する予定。

六月に上海に一号店を出店、年三度のペースで出店する。上海や北京といった大都市の百貨店や商業施設で五〇〇平方メートル程度の売り場を展開し、食器やソファなど日本で販売しているのと同じインテリア雑貨などを販売する。



香港のフランフラン店内

価格は皿で千円程度の日本に比べ、一・三倍程度高くなる見込み。中国ではデザイン性の高い雑貨店はまだ少ないといわれ、三十代の富裕層の女性を中心に需要を取り込めるとみている。

バルスは現在、直営店を香港に四店構えるほか、韓国と台湾で一部フランチャイズチェーン(FC)方式で出店している。今後の成長余地が大きい中国では、三菱商事と組むことで情報収集や現地の労務管理ノウハウなどを得て、早期から本格的な店舗展開を軌道に乗せる。

バルスは三菱商事から5・8%の出資を受けており、現在は主に商品調達などで協力を得ている。今後は海外展開でも協力を深める。

## 世界的権威

## 米電気電子学会が評価

### 大林秀仁氏

(日立ハイテクノロジーズ社長/福井市出身)

### リーダーシップ賞



大林秀仁社長

電気工学分野の研究開発でリーダー的な役割を果たした個人に贈られるIEEE(米国電気電子学会)の「2010 IEEE エルンスト・ウエーバー エンジニアリング・リーダーシップ賞」を日立ハイテクノロジーズの大林秀仁社長(六六)が福

井市出身が受賞した。同社によると、日本人が同賞を受賞するのは初めて。

大林社長は日立製作所中央研究所に勤務していた一九八〇年代、電子機器に搭載される大規模集積回路(LSI)の高性能化に不可欠な計測装置「測長走査型電子顕微鏡」の開発を主導した。同顕微鏡は現在、世界各地の半導体デバイスの開発拠点や工場で使用されているという。

研究開発におけるリーダーシップが高く評価され、受賞が決まった。

大林社長は福井市出身で、早稲田大理工学研究所を修了し、一九九一年に日立製作所中央研究所に入社した。二〇〇一年に日立グループの中核で半導体装置の製造などの日立ハイテクノロジーズの取締役に任じられ、二〇〇七年同社社長に就任した。

今回の受賞については「全世界のユーザーの皆さま、測長走査型電子顕微鏡の開発、営業、サービス担当のおかげで、栄えある賞を受賞できたことを感謝いたしております」とコメントしている。

## 福井デザイン倶楽部

### 本県PR 知恵結集

### 福井デザイン倶楽部が勉強会

首都圏在住の県出身者で福井の活性化を考えている「福井デザイン倶楽部」の勉強会が二月二日(水)に南青山五丁目目のふくい南青山291で開かれた。本県を紹介するフリーペーパー「fukuisit」を発行している南朋恵さん(大野市出身)と県ブランド営業課の新庄俊之企画主査を講師に迎え、福井のPR方法などについて意見交換した。

勉強会は十年前からスタートし、十二回目の今回は「福井PR」を巻き起そうと眠れる秘密「福井」がテーマ。隔月でフクイストを発行している南さんは、福井ゆかりの飲食店や企業で情報誌を置いてもらえるようになり八千部を作製していることを紹介した。新庄さんは福井の認



福井県のPR方法などについて意見交換した福井デザイン倶楽部の勉強会

### 奥越経済同友会が発足

会員17人、

会長に岸下武雄氏が就任

(勝山市出身)

奥越出身の経済人らでつくる東京奥越経済同友会が発足し、このほど千代田区のレストランで設立総会が開かれた。会長にコナカ前社長の岸下武雄(勝山市出身)氏が就任した。

奥越地区の振興発展に協力するとともに、会員の相互交流を図っていくこと、岸下氏が発起人となって準備を進めていた。東京、千葉、神奈川、埼玉など関東在住の大野、勝山両市、永平寺町出身の経営者、自営業、会社員らが対象。総会には会員十七人のうち十六人が出席した。

総会では勉強会を兼ねた例会を年三回開催することや、五十人を目指して会員を募っていくことを確認した。

### 越前がに 刺身で舌鼓

#### 「晩餐会」格安コース、地酒も

#### 友田晶子さんが主催(福井市)

ゆでたての越前がにや福井の名産品を味わってもらおう「越前の贅を尽くす晩餐会」は二月二十四日(水)、東京、麻布十番にある本県ゆかりの郷土料理店「麻布萬會」で開かれた。首都圏に住む県民ら約五十人が地酒とともに福井の食の素晴らしさを満喫した。

福井市出身で県認定ふくい食のアンバサダーを務め、日本酒好きの友田晶子さんが主催した。都内では三万円ほどで売られている越前がにを刺身にし、おろしそば、へしこ寿司などと合わせた格安の二万円コースで提供した。

越前町の料理旅館の代表によるカニの食べ方指導があったほ



越前がになどが振る舞われた越前の贅を尽くす晩餐会。麻布十番の麻布萬會

### ふくいブランド大使

### 関東地区交流会

#### 講演、活動発表、意見交換・歌の披露

関東地区のふくいブランド大使の交流会が、二月十一日(水)、南青山291で開催され、首都圏の大使約四十名が参加した。

当日は、フリーペーパー「fukuisit」を発行している南朋恵さんが講演。発行までの想いや苦労、発行後の反響、今後の抱負を話された。

その後、個人や仲間で行っている大使四名(櫻井良吉さん、藤田康晴さん、矢島里佳、竹部美樹、小林雅広さんの三名、財満慎太郎さん)が活動発表。意見交換では、グループに別分かれ、大使活動をして気付いたことや福井認知度向上についてのアイデアについて話しあった。

会の最後には、福井県出身のオペラ歌手・勝倉小百合さんによる美しい歌声の披露が行われた。



「福井ものづくりコンテスト」の開催について提案した矢島、竹部、小林さん  
オペラ歌手 勝倉小百合さん



今後の活動方針などを話し合った東京奥越経済同友会の設立総会。千代田区のレストラン

**税理士 木村まり子**

事務所 〒174-0051 東京都板橋区小豆沢2丁目5番1-411号  
Tel 03-5916-8350 Fax 03-3965-3780

**泰信電気株式会社**

取締役社長 **坂下昇**

〒105-0014 東京都港区芝3-43-13  
電話 03 (3452) 8311  
FAX 03 (3452) 8317

**TOKYO-ARPA**

代表 所長 弁理士 **佐々木 功**  
Sasaki Isao

特許業務法人 **東京アルパ特許事務所**  
〒105-0001 東京都港区虎ノ門1丁目2番29号  
虎ノ門産業ビル6階  
TEL: 03-3591-0271 FAX: 03-3508-0170  
E-mail: 27ip29@tokyo-arpa.jp

# 福井県人

## こころの玉手箱

画家 久里洋二 (鯖江市)



## 母親が送ってきた「小説と絵巻」

NHKの連続テレビ小説「おはなはん」が大評判になっていった時だったから、今から四十年以上も前のこと。故郷鯖江市の母から届いた品を見て「何だこれは」と思った。母の筆跡の原稿用紙が出てきたのである。同じころには絵も送られてきた。多くの記憶の中には原稿用紙に向かったり絵筆を執ったりする母の姿はなかった。

そういえば東京で一緒に「おはなはん」を見た時、母は「私だって小説が書ける」と語っていた。大正時代末、母が結婚してから体験談を基に軍人だった父がシベリアに従軍した話などが書き続けられていた。巻紙に墨で描いた絵は二点。一つは竹を描いた文人画風で、もう一点には自分が通った小学校の教室や教師の姿が描かれていて、

こちらには正直「結構うまい」とびっぴりした。中学を卒業した後、漫画家になろうと上京したばかり、母は時々訪ねた。その母の一番の気がかりがぼくの結婚相手だった。漫画家の横山泰三さんに師事したり学校へ通ったりして勉強したが、世の中はそんなに甘くない。食うや食わずで、当時は体重が四十キを切り、今の若い女性よりやせていた。仕事もなけれど金もないうせつっぽさではあるわけがなかった。

上京して四、五年たったころだったと思う。ぼくはちよつとでも交際すると結婚してもらえろと思ひ込んでしまつた。結婚話を母に伝えると女性に会おうと東京に飛んでくる。がそのころには話が壊れている。あされた母は故郷で縁談相手を探

してくれど約束した。しばらくして届いた返事は「お前に合う人はいない。自分で探さなさい」とあった。父は時々酔って帰ると、怒鳴りながら家族に怒りをぶちまけた。そうした時、母は火鉢の前に座って灰をかきまわす。父は根負けしてしまふ。母は負けず嫌いで、意志が強いところがあり、成績がよければしくなかつた。ぼくも小言を言われた記憶がない。

母は三十年ほど前、七十二歳で亡くなった。次男のぼくが何をしようが無関心だったが、ぼくが漫画賞を受けてからは見方を交えたよう、十八年間、週一本アニメーションを発表し続けたテレビ番組「11PM」を毎週見てくれた。母から小説と絵が送られてくるとは想像もしなかつたが、思えばぼくも絵を描き、小説を見てきたのだ。くり・ようじ

母は三十八年生まれ。文化学院美術科卒。五八年文芸春秋漫画賞を受賞した。「人間動物園」ほかのアニメーションは国際的に受賞を重ねた。現在は画家として世界各地で個展を開催し、アニメを制作している。(日経3/30)



母の意外な一面に触れてびっくりした

創刊半年で15000部

## 福井の輪 世界へ 無料情報誌「fukuist」

首都圏で暮らす福井県出身者がつくる無料情報誌「fukuist」(フクイスト)の発行部数が四月十五日に出した第四号で一万五千部になった。創刊から半年で三倍に。現在では、首都圏と福井県内の読者の割合は、ほぼ半々。県出身者のネットワークも手伝って、置かれる場所

も二十五方所から百九十九方所。全国各地、パリ、上海、香港に広がっている。情報誌は編集長の南朋恵さん(三〇)と大野市出身と広報・PR担当の浅賀貴美さん(三三)と坂井市出身が制作している。南さんは六年前に上京して事務所の派遣社員などをしてきた。終電まで働き、ただ会社と家を往復する毎日。心が体が息切れしていた時に思い出したのは古里だった。「南さん。そんな福井の魅力が首都圏の人たちに知らせ、併せて地元の人たちには古里を再発見してもらおうと情報誌の発行を思い付いた。しかし雑誌づくりの経験はない。そのころ、広告代理店のPR部門で働く浅賀さんに出会った。さらに県内出身者に協力を呼び掛け、昨年十月に初版五



フリーペーパー「fukuist」を発行する浅賀貴美さん(左)と南朋恵さん

千部で「創刊号」を発行。首都圏では県内出身者が経営する飲食店などに置かせてもらった。仕事の傍らの編集という「手づくり感覚」(浅賀さん)が人気で三千部を増刷する編集になった。二ヶ月ごとに発行。号を重ねるごとに、自然や味、県内出身者のインタビューなど、内容も充実してきた。創刊号は県の補助金を受けたが、次第に広告で発行費を賄えるようになった。今年二月には、横浜市緑園東小の授業で「地域のために自分ができること」の実例として採りあげられた。南さんは「東京の人たちにとって、福井はちよつぽけな存在かもしれない。でも私たちにとってはかけがえのない古里。その良さを伝えていきたい」と話している。(東京新聞5/13)

## インタビュー



## 優先順位を間違えるな 中央大学理事長 久野修慈氏(福井市)

新エネルギーの開発に異議があるとか。「太陽、風、波、地熱など自然現象を生かしたさまざまな新エネルギー開発の可能性には大いに期待しています。木材資源を活用するバイオマス(生物資源)燃料などを開発する必要もあるでしょう」

「ただ、本来は食用に供するものをエネルギーとして使うべきでない、といったのです。世界のエネルギー需要が急拡大しているなかで、サトウキビを圧搾してバイオエタノールにする事業を先進各国の大企業がブラジルなどで計画・展開しています。現地の砂糖エタノール会社と組んで生産を急拡大しよう

としていくようですが、問題があるのではないかと思うのです」

「エネルギー確保が世界的な食料問題につながるかねないからですか。『そうです。地球上にはなお餓死している人が少なくありません。餓死している人の用途で使うべきでない。これは事業(製糖業を通じて親交があるキューバのフィデル・カストロ前国家評議会議長が言っていたことですが)。キューバは石油が不足している、豊富なサトウキビをエネルギーとして使っています。この行き方こそ正しいのではないのでしょうか」

「エネルギーへの転用がなくても、新興国の経済成長が世界の食料需給に影響しそうです。『その影響は大きい。例えば日本人の砂糖消費量は一人年間十九キ前後、欧米では年間四十キくらいあります。これに対して中国は今のところ年九キほどですが、中国や東南アジアの所得水準が上がると、砂糖消費が増えるようになればたちまち供給不足になる可能性があります。日本の砂糖原料は国際価格に比べて品種によって二〜八倍も高く、国際競争力がありません。長期の安定供給策を考えないと将来高い買い物を迫られることになりそうです」

「砂糖だけでなく、とうもろこしを原料にするバイオエタノールの生産がとうもろこし価格を急騰させ、二年前に世界各地で食料危機を招く一因になりました。発展途上国が主食を小麦などにシフトすれば先進国にも影響します。それだけでなく地球温暖化の影響などで世界的に天候不順になりやすく、生産が不安定になっています。さらに投資ファンドなどが商品市場に参入し、原料や製品価格も高騰につながっています」

「国連の場などで各国の政府や国民が、食料と新エネルギー環境問題との関係についてもう一度真剣に議論すべきではないでしょうか」(日経3/1)

## 新入会員紹介

映画監督 小野寺昭憲さん(福井市) 短編「雪の花」制作



「不況の時代だからこそ、多くの人に作品を見てもらい、希望の光を届けたい」と話す小野寺さん

福井市出身の映画監督、小野寺昭憲さん(二九)川崎市在住、初の商業映画となる短編作品「雪の花」を制作し、七月十一日(日)、南青山291で上映会を行った。小野寺さんは二〇〇八年に「プロスタTVアワード」の脚本映像化部門優秀賞を受賞したことがきっかけで、同年の「Yahoo! JAPAN文学賞」受賞作品「雪の花」を映像化する監督に抜擢された。偶然にも原作の舞台は故郷・福井。さらに、果花の越前水仙が題材という偶然が重なり「運命的なものを感じた」と話す。足羽高「目指すはカンヌ、ベルリン、ベネチアの三大映画祭。世界の人々に自分の作品を見てもらいたい。大きな夢を胸に、真つすぐに前を見据えている。」

**KSU 株式会社 砂町運輸**

代表取締役会長 佐々木 昇

〒135-0063 東京都江東区有明4丁目15番地  
東京港フェリー埠頭ターミナルビル3F  
電話 03(3527)5270(代)  
FAX 03(3529)5850番

曹洞宗 臥牛院(旧織田町) 住職 日庭寺(旧武生市)

藤木 隆 宣

〒252-0113 相模原市緑区谷ヶ原2-9-5-5  
電話 042(703)8641  
FAX 042(703)0989

**アルゼンチンタンゴ・ダンス協会**

会長 小林 太平

〒104-0061 東京都中央区銀座7-14-7-3F  
TEL 03-3544-5600 FAX 03-3544-5601  
Email libertad@tangodance.co.jp  
www.tangodance.co.jp

# 看護を考える貴重な体験

皇室派遣 愛子様担当

中川直美さん(鯖江市)



皇太子ご夫婦と接し、愛子さまの成長を見守った思い出を語る中川直美さん

中川直美さん(四八)(鯖江市)は一九九二年から三年間、皇太后宮職看護婦として献身的に香淳皇后の身の回りを世話。その経験を買われ、〇一年十二月から皇太子ご夫妻の健康管理と愛子さまの保育看護スタッフに抜

## ご成長間近に「優しさ印象的」 愛子さま「ユーモアにあふれ虫が大好き」

福井赤十字病院から、約八年間派遣されていた。中川さんは、ご夫婦や愛子さまと接する重責について「大変だったが、それ以上に喜び、やりがいがあり続けてこられた」と振り返る。

特に愛子さまは赤ちゃんのころから側で見続け、思い出は語り尽くせないほどあるという。「成長の過程で子どもは周囲から大きく影響を受ける。身近に接する身として、看護師という以前に自分がどのような人間、女性であるべきか常に考えさせられた」。

「放送人」なんて気恥ずかしいです。皇居の縁を望む東京MXテレビ本社の会議室で、開口一番そう語った。畑違いの仕事から転身した自らの役割について「コンテンツ(番組)を作る人を育てるための環境整備」と謙虚だ。

他人をお気遣いになる優しさは印象に残った。「(私が)庭でバランスを崩しそうになった時に手を差し伸べ、大丈夫ですかと気遣っていた。一方でユーモアにあふれ虫が大好きな子供らしさも兼ね備えられ本当にかわいらしかった」と、成長される過程を間近で見ることができた喜びを話す。

中川さんは、皇室を離れた今後は「看護の本質は何かを考える貴重な体験をさせて頂いた。看護を志す人に、看護がどれだけ素晴らしい仕事か伝えることができた」と語り、皇室での経験を日常看護や後進の育成に生かしたいと話された。

愛子さまについても、世間から常に注目が集まり「側につき、もつと守って差し上げられたら」と後ろ髪引かれる思いという。

「新規会員の増加」 これまで特定個人の方々の献身的な努力に頼りすぎていたように感じています。もう少し組織的な動きを工夫していけないかと思っております。

昨年四月に父母の二十五回忌で鯖江市に帰りました。父は、文殊山の麗福井市麻生津角原の農家の三男で、大阪に出て塗料商を営んでいました。母は、下河端の農家の長女であり、その父が亡くなったので、祖母が母達を連れて鯖江市へ出て、織物の内職等で一家を養いました。

終戦後は極めて困難な時代でありました。父は、鯖江郵便局に勤め、兄も一家のためによく働きました。

「ホームページ充実」 県人会活動に関する情報提供も既会員への郵送や口コミなどの方法だけではなく、ホームページの活用を更に進めていくことを検討してはどうでしょうか。

次男の私は、昭和二十年旧制武生中学に入学、武生高校へ、昭和二十三年教育改革で学区制が施行されて鯖江高校へ転校になりました。金沢大学を経て東北大学に移り、昭和三十年卒業。裁判所書記官として五年間勤め、司法試験に合格して弁護士となりました。

現在の私は、昭和二十年旧制武生中学に入学、武生高校へ、昭和二十三年教育改革で学区制が施行されて鯖江高校へ転校になりました。金沢大学を経て東北大学に移り、昭和三十年卒業。裁判所書記官として五年間勤め、司法試験に合格して弁護士となりました。

これらの福井県人が参加する組織の連絡的役割を東京福井県人会が担ってはどうでしょうか。(株)戸田建設勤務

# 活躍する

## 失敗すれば引き返す 東京メトロポリタンテレビジョン (東京MXテレビ) 4代目社長に就任 中川謙三さん(おおい町)



「放送人」なんて気恥ずかしいです。皇居の縁を望む東京MXテレビ本社の会議室で、開口一番そう語った。畑違いの仕事から転身した自らの役割について「コンテンツ(番組)を作る人を育てるための環境整備」と謙虚だ。

眠不足の日々が続きそうだ。(毎日6/21)

おおい町出身。藤島高、東京大学法学部卒業後、七一年に鹿島建設入社。八五年から、平泉渉経済企画庁長官(当時)秘書官を努め、九八年に東京MXテレビ取締役に就任。専務を経て五月二十一日付で社長に。妻と二人暮らし。六四歳。



## 東京福井県人会に思う 山崎俊博(福井市)

山崎俊博(福井市)

「ホームページ充実」 県人会活動に関する情報提供も既会員への郵送や口コミなどの方法だけではなく、ホームページの活用を更に進めていくことを検討してはどうでしょうか。

「越前水仙を植える活動」や各種「勉強会」から「ゴルフ同好会」や「バーベキュー会」単なる「飲み会」などのレクリエーション組織まで、色々な活動も存在しています。これらの大変有意義な行動を、県人会活動の一環として位置付けてはどうかと考えます。

弁護士 清水正明 (鯖江市出身)

〒135-0031 東京都江東区佐賀1-11-11 東海永代ハイツ405号

事務所 電話 03-5245-3646 FAX 03-5245-4077 自宅 電話&FAX 03-3445-4479

安全で美しい自然(海、山、川)を守りましょう

トウネンキ株式会社

マンション・ビル設備改修工事・資産価値UP

〒183-0053 東京都府中市天神町3-11 電話 042(363)0321 URL: http://www.tonk.co.jp

ISO 9001:2000 継続8年 森本光輝・森本秀次(瀬河内出身)

ネットで販促、売上アップ!

ASP運営・システム開発・ホームページ制作・サーバ運営

浅地デジタル彩図ファクトリー株式会社

常務取締役 浅地紀之

TEL:03-3535-0535 E-mail: info@adsfactory.ne.jp

安くて、簡単、高品質。 www.netreal.jp

### 越前陶芸村の活性化

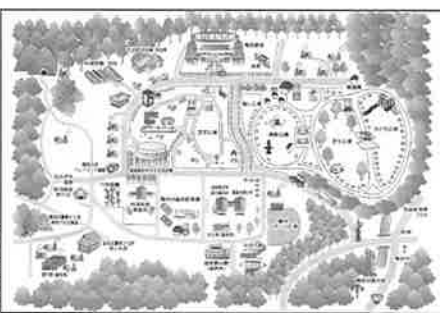
## 各施設の連携に期待

岩崎 大樹 (福井新聞鯖江支社)



越前町の越前陶芸村や越前焼の活性化を図ろうと、関係者で構成する同村産地協議会の会合を取材した。その中で挙げられた議題の一つに「同村内の各施設が点在している観光客にわかりにくい」というのがあった。

私が取材で初めて同村を訪れたときも同じ印象を持った。同村内には、福井県陶芸館や文化交流会館、越前焼工業協同組合直売所「越前焼の館」など、越前焼に関連する施設が多く点在している。私はこんなに多くの施設があることを知らなかったし、どの施設に行けば何ができるかなども全然分からなかった。越前町を担当する記者として勉強不足だったことは否めない。しかし、これは初めて同村を訪れた観光客も持ちかねない印象だと思ふ。観光客がお土産を買いたくても、買えるの店が存在に気づくことなく帰ってしまうことも多いという。陶芸館の



越前陶芸村



鶴を探して、田んぼや畑を飛び回るコウノトリ。越前市内

## コウノトリ越前市

### 滞在1ヶ月

## 命名「えっちゃん」

越前市王子保地区に飛来した国の特別天然記念物コウノトリの雌一羽が滞在を続け、一ヶ月たった。このコウノトリは兵庫豊岡市の県立コウノトリの郷公園が放鳥した雌雄の間に二〇〇九年四月に生まれた雌。観察に当たる日本鳥類保護連盟県支部メンバーや地元住民によると、飛び立って行方が分からなくなっても、翌朝には、もとい田んぼ周辺に戻ってくることが多いという。県内では〇五年、大陸から飛



福井で生誕100年フォーラム

## 白川文字学

### 源流迫る

福井市出身の漢字研究者で文化勲章受賞者の故白川静さんの生誕一〇〇年を記念するフォーラム



故白川静さんの生誕100年を記念して開かれたフォーラム＝県生活学習館

ラムが、福井市の県生活学習館で開かれ、来場した約四三〇人が白川さんの功績や人柄について多面的に理解を深めた。基調講演では、白川文字学を解説したベストセラー「白川静の著者松岡正剛さんが「東洋と西洋のあいだ」と題して講演した。松岡さんは、一神教の神がすべてを決定する信仰が根底にある西洋に対し、東洋を「多様性の文明」と分析。「神を客として迎え、応答を働き掛ける」という古代中国の人々の思考様式が、白川文字学の根本の論理になっている」と説明した。

## 浜雲 雲奨学

### 「講正学舎(世田谷区)利用を」

## 酒井忠和新理事長



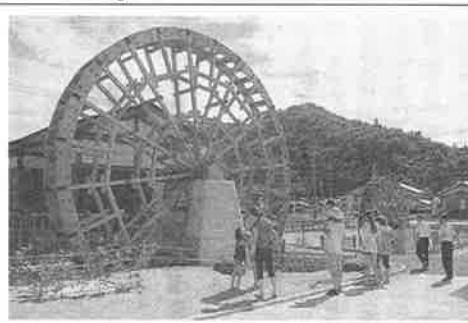
雲奨学会の新理事長に就任した酒井忠和氏

旧若狭小浜藩の初代藩主酒井忠勝の子孫で、酒井家十九代当主の酒井忠和氏が、世田谷区にある本県出身者対象の男子学生寮「講正学舎」を運営する雲奨学会の新理事長に就任し、あいさつのため福井新聞社を訪れ、内田和朗常務と懇談した。講正学舎は、一九〇〇年に十六代当主の酒井忠道氏が、現在の新宿区に旧若狭小浜藩出身者

## 活性化担い二連水車

### 「竹田水車メロディパーク」オープン

北陸最大級の直径八メートルと五メートルの二連水車を備えた「竹田水車メロディパーク」が坂井市丸岡町山口に完成した。竹田地区の観光の目玉と地域活性化の起爆剤にしようと、坂井市が二連水車と水車小屋、物販所「たけだや」などを旧武田小・丸岡中竹田分校近くの国道三六四号沿いに整備していた。敷地面積は四三〇〇平方メートルで総事業費は約八六〇〇万円。木製水車は地元竹田川の流れを利用して回り、水車小屋は発電機能を備える。物販所「たけだや」では、地元で採れた山の幸をふんだんに使った郷土料理の数々を住民が調理物販する。公園の管理運営は地元の水車運営協議会が担当。



直径八メートルと五メートルの二連水車を備えた、竹田水車メロディパーク。坂井市丸岡町山口

## 百済の歴史 旅して実感

鈴木康彦 (越前市)

昨年、個人的に数日間韓国を旅行した。ソウルから日本の新幹線に相当する高速鉄道で大田まで行き、そこからバスを乗りついで扶余に着いた。百済最後の都として栄えたが、現在は地方都市という感じだ。しかし、百済文化を紹介する立派な国立扶余博物館もあり、各所の歴史遺跡の整備がすすめられている。百済離宮址の宮南地では、広

ふくい

## ふるさとワイド便

## 南から北から



大なハス池に目を見張った。百済滅亡時、数千人の女性が花の散るようにな身を投げたという落花岩を白馬江の遊覧船から眺め

ふくよかなひとときに まるごとそのまま 越前海鮮煎餅

### 煎餅革命

## 越前海鮮倶楽部

【直営店】  
◆阪神梅田店 大阪阪神百貨店梅田本店  
◆池袋店 JR池袋駅構内中央改札外  
◆新宿店 JR新宿駅構内地下中央通路  
◆羽田空港店 第1ターミナルビル特選和菓子館  
◆本社 Office: 福井県坂井市三國町平山 15-21  
TEL:0776-81-3252 FAX:0776-81-3397  
◆東京 office: 東京都中央区銀座 1-9-6  
TEL:03-6228-6920 FAX:03-6228-6921  
お問合せ・ご注文はフリーダイヤル **0120-55-6671**  
http://www.senbei.biz



## 福梅

〒919-1323 福井県三方上中郡若狭町倉見5-8  
TEL.0770(45)2115 FAX.0770(45)2215  
フリーダイヤル 0120-291295

## 株式会社福井新聞社

本社 〒910-8552 福井県福井市大和田町56  
電話 0776 (57) 5111(代)  
東京支社 〒105-0004 東京都港区新橋2-19-4  
SNTビル5F  
電話 03 (3571) 2918(代)  
FAX 03 (3574) 8564

# ふくい ふるさとワイド便

## 北から南から

### 水仙と景色楽しんで 梅丈会会員20人

## 球根1200球を植栽 三方五湖レインボウライン山頂公園

三方五湖を望む、美浜、若狭町にまたがるレインボウライン山頂公園で、水仙の植栽が行われた。用意された約一二〇〇球の球根は同公園の南側斜面に植えるなどし、眼下に広がる湖の絶景とともに水仙を楽しむことができるという。

福井県花である水仙を嶺南にも植え、観光地を彩ろうと、同公園などを運営する株式会社レインボウラインが、県園芸試験場などから球根の提供を受けた。同公園の草刈りやペンキ塗りなど、ボランティア活動を行った。「梅丈会」の会員二十人が植栽作業にあたった。同公園の南側斜面約一〇〇平方



三方五湖を望む南側斜面で行われた水仙の植栽

### 「藤野記念館」を移設

## 足湯広場も整備

あわら市のえちぜん鉄道あわら湯のまち駅前多目的用地の整備方針を考える市民参加型のワークショップ(W.S)が開かれ、里山の風景と全体のイメージとし、藤野巖九郎記念館の移設や足湯広場の設置など最終案がまとまった。

同用地中央には芝生広場を設け、周囲にはウォーターガーデンや樹木、草花を植えて里山の空間を造成。用地を南北に流れる水路も設置する。

施設は、同市出身の医学者、藤野巖九郎の旧宅「藤野巖九郎記念館」(同市舟津)を移設し、中国の文豪、魯迅の師としての功績を紹介する。また新たに源

## 小浜と杉田玄白

杉田玄白記念公立小浜病院院長・京都大学名誉教授 小西淳 二

京大を退官したあと、若狭の公立小浜病院で地域医療を担当するようになって八年目を迎えました。一昨年アメリカの新大統領にオバマ氏が当選したことで、一躍全国に、いや世界に知られるようになったOBAMA市ですが、この地で、明治十六年以來百二十七年間にわたって唯一の総合病院として地域医療を支えてきたのが小浜病院です。小浜市と周辺の三町で作る組合立の病院ですが、ベッド数は四五六床、全国の自治体病院の中でも五番目に古いとのこと、私は院長として十六代目になり

ます。昔から京都とのつながりの深い土地で、朽木村を通る鯖街道を走ると僅か八〇km、一時間半のドライブです。

さて、当院の玄関前には写真のような立像があります。これは日本の近代医学の先駆者として知られる杉田玄白の銅像です。この像と対面して、向かいの児童公園には、第十三代田辺聖院長により建てられた立派な顕彰碑があります。

杉田玄白は、一七三三年に小浜藩医の三男として、江戸に生まれ、父とともに八歳から十三歳まで、小浜に滞在し、その間



病院前の杉田玄白像と筆者

に出会った人たちの思い出を七十歳のときに書いた「形影夜話」に綴っています。その後、成人して藩医になってからも何度か藩主酒井忠貫の参勤交代に従い小浜に帰っています。玄白は八四歳という当時としてはずば抜けた長寿を全うして江戸で亡くなりました。

「解体新書」の翻訳と「蘭学事始」についてはここで触れるまでもないでしょうが、玄白にはそれ以外にも優れた著作があります。その一つが医学を勉強するものの心得、医者心がけや治療のことを述べた「形影夜話」であり、その他にも健康を守るための心得として「養生七不可」を著しています(いずれも小浜市立図書館の酒井家文庫に原本が保存されている)。

一昨年末、東京への出張機会に、玄白ゆかりの地・蘭学記念碑・杉田玄白の墓・回向院・生誕の地矢来公園を、訪ねてきました。

## 松尾大佐遺徳しのぶ 福井市で献花祭30人参列

一九三六年の二・二六事件で義兄、岡田啓介首相の身代わりとなって殉職した福井市出身の松尾伝蔵陸軍大佐をしのぶ献花祭が、胸像がある同市旭小で開かれた。旭地区の開催者ら約三十人が遺徳をしのいだ。

特別顕彰事業委員会が毎年二月二十六日に開催。松尾大佐の孫、文夫さんの同窓生約二十人も参加した。

代表者が花が手向けられた胸像に礼拝し、秘書官として首相を守り、凶弾に倒れた松尾大佐をたたえる歌を全員で合唱。

特別顕彰事業委員会の野田興次郎委員長(七二)が、胸像や献花祭の由来を説明し、「功績を後世に伝えていきたい」とあいさつした。



えちぜん鉄道あわら湯のまち駅前多目的用地の整備イメージ図



奈良市の平城宮跡会場に向けて出発する御贄献上行列II高浜漁港

平城宮跡では「若狭国遠敷郡青の里」(現高浜町青郷地域)から多比鮮が献上されたことを記す「荷札木簡」(贄札)が出土しており、町や地元の商工会、海協、観光協会などでつくる実行委が企画した。多比鮮は高浜沖で捕れたマダイを二月に漬け込み、塩は三月に若狭浜の海水から作った。

烏帽子や古代衣装に身を包んだ町民約五十人が行列に参加した。

奈良県で行われた「平城遷都一三〇〇年祭」に合わせ、高浜町から奈良市まで塩や多比鮮(タイのなれずし)など奈良時代の献上品を運ぶ「御贄献上行列」が四月二十日高浜漁港を出発し、四日間かけて約一三〇kmを踏破し、当時の都の食を支えた高浜の歴史や文化を全国にアピールした。

**東本願寺 (真宗大谷派) 真宗会館**

京都の東本願寺を本山とする首都圏の中心施設です。仏事相談や葬儀・法事・仏前結婚式などお気軽におたずねください。

〒177-0032 東京都練馬区原1-3-7  
電話 03 (5393) 0810  
FAX 03 (5393) 0814  
<http://www.prati.info/>

**若狭小浜 丸海 直売店**

通販本部(直送便)  
〒910-8550 福井県小浜市川崎2-1-1  
TEL:0120-17-3747 FAX:0770-52-5666  
<http://www.wakasa-marukai.co.jp/>

日本橋三越本店  
TEL:03-3274-8892(呼出)

**河和田印刷株式会社**

代表取締役社長 佐々木慎一

東京本社  
〒169-0075 東京都新宿区高田馬場2-6-5  
電話 03 (3200) 7777  
FAX 03 (3200) 2715

福井本社  
〒918-8108 福井県福井市春日3-620  
電話 0776 (35) 3333  
FAX 0776 (35) 0411

## 2010 春季総会 副会長に 朝岡勇氏(福井市)選任 懇親会約80人交流

東京福井県人会の、春季総会と、懇親会は七月二十九日(木)夜、千代田区のアルカディア市ヶ谷で開かれ、会員ら、約八十人が出席し交流を深めた。

総会では、大和田潔会長が「暑い日が続くが、元気に過ごし、皆さんの力で県人会を維持してほしい」とあいさつ。新しく、副会長に朝岡 勇氏(福井市出身)を選んだ。

西川知事も来賓で出席し、福井市で開かれたAPECエネルギー担当大臣会合が無事終了したことなどを報告し「新幹線や農業問題などに全力で取り組みたい」と述べた。

この後、会員で春の叙勲瑞宝小綬章を受賞された清水豊氏(福井市)に、大和田会長から



「雪の花」の一場面 初老の夫婦役は、渡辺裕之、原日出子さん

紅白のワインが贈呈。

懇親会では、映画監督の小野寺昭憲さん(福井市)が製作した「雪の花」福井が舞台の短編作品の写真を一部が上映され、新会員八名が挨拶した。

今回は、会員が出身市町ごとにテーブルに分かれ、食事を楽しみながら旧交を温めた。

## 2009 秋季総会 会員70人が 旧交温める

秋季総会は、十一月十九日(木)夜、千代田区のアルカディア市ヶ谷で開かれ会員約七十人が集い、旧交を温めた。

大和田潔会長が「東京福井県人会は、明治三十一年に創立、全国でも三番目に古い歴史を持つ、伝統のある会。さらに伝統を引き継いでいってほしい」とあいさつ。

来賓の西川一誠福井県知事が、小中学生の学力や体力が全国上位であることや、アジア太平洋経済協力会議(APEC)エネルギー大臣会合が、平成二十二年六月に、福井県で開かれることを紹介した上で「ふるさと納税は今年が二年目。ぜひ協力を」と呼び掛けた。

瑞宝小綬章を受賞した勝山市出身の金子由成さんや、新会員



秋季総会＝アルカディア市ヶ谷

## 箱館奉行所一般公開 越前赤瓦四万枚使い復元 永平寺の宮大工施工

幕末に地方整備の拠点として北海道函館市に設置された箱館奉行所が当時あった場所と同じ国特別史跡「五稜郭跡」に約一四〇年ぶりに復元された。七月二十九日から一般公開された。

函館市によると、文献や発掘調査の結果に基づき、青森ヒバの柱、秋田杉の天井板を用いるなど材質のほか、間取りなど忠実に再現した。屋根には、福井県瓦工県共同組合が製作した約四万枚の「越前赤瓦」が使われた。

復元工事は二〇〇六年六月に始められ、総工費は二十八億円。永平寺町の宮大工ら延べ一万三千人以上が約四年かけて完成させた。

当時の奉行所は一八六四年に完成、旧幕府軍が一時占領し、函館戦争の舞台にもなったが、明治政府が七一年に解体した。復元決定後、奉行所の建材を調査、分析したところ、瓦は含



越前瓦を使って復元された箱館奉行所＝箱館市

## ち良こ奈 奈良に越前水仙を 団体が球根植える 藤田道男会長ら

藤田道男社長(関西学研都市センター/福井市)が会長を務める「花いっぱい運動の会」が奈良市の近鉄高の原駅前広場など三方所に越前水仙の球根三三〇個を植えた。写真

同会は二〇〇七年に設立。藤田会長は以前このエリアは放置自転車やゴミが多いため、花で飾ろうと考えたと話しており、まちづくりの一環として日ごろから花を植える活動を展開している。今回は会員約六十人が参加した。

水仙を植えるのは初めてとあって福井県農林水産部園芸畜産課の松田勇二主任がアドバイス。会員らは耳を傾けながら軍手に



スコップを持って丁寧に作業を進めていた。

## 越前そば 施設で提供 坂井市の農業グループ慰問

坂井市の農業者グループが、販路拡大にもつなげたい」と話している。

七月十二日(月)、港区・西麻布の特別養護老人施設「ありすの杜」のこ南麻布を慰問し、入所者らに福井県産そばを使った越前そばを振る舞った。

慰問したのは同市丸岡町の農業、佐藤貞昭さん(八〇)ら八人。佐藤さんが同施設と福井県産コシヒカリの販売契約を結んでいるのが縁で、そばを食べて長生きしてもらおうと企画した。

同町産のソバ粉五十キを用意し、同行したそば打ちスタッフが入所者の前で腕力を披露。約五〇〇食を、ざるそばで提供した。

同施設の売店では佐藤さんらのコシヒカリが販売されており、近隣の人々からも好評を得ている。

佐藤さんは「今後も慰問を続けたい。関東でのコシヒカリの



特別養護老人施設の入所者らに越前そばを振る舞った丸岡町の農業者グループ＝港区西麻布市

## 編集後記

▽御多忙の折、貴重な玉稿を御執筆併せて広告掲載の御協力を頂いた関係者の皆さんに厚く御礼申し上げます。

▽箱館奉行所が完成し一般公開。奉行所には、越前赤瓦が使われていたことが分かり、県の瓦工業組合が製作。かつて北前船で北海道迄、行き渡った越前赤瓦が、約百四〇年ぶりに福井から箱館へ運ばれた。建物は永平寺宮大工が施工を担当し、福井の技術者集団が活躍した。

▽福井出身の経営者で、日本のみならず世界で活躍する社長も数多い。雑貨店「フランフラン」を経営する高島郁夫社長(五四)(鯖江市)は、国内外に百

五〇店舗を展開、三菱商事と組んで、中国本土に進出した。二〇〇六年東証一部上場。「日立ハイテクノロジーズ」大林秀仁社長(六八)(福井市)は、電気・電子技術分野で世界的な権威を持つ「2010 IEEE エンジニアリングリーダーシップ賞」を日本人で初めて受賞した。

▽総会の出席者数が減少したが、会員の高齢化が推定されるが、会員有志の会として、奥越経済同友会、福井グルメの会、福井デザイン倶楽部、ふくいプラン大使交流会、越前水仙を植える会、291ヤング倶楽部等の活動が活発であるのは嬉しい。

▽今号も又記事、写真等福井新聞社から一部提供して頂きました。心から感謝申し上げます。

▽会員各氏の次号への投稿をお待ちしています。(林 健彦記)

株式会社 兵左衛門

代表取締役会長 浦谷 兵剛

〒101-0031 東京都千代田区東神田一丁目十四番五号 新川タイユウビル

電話 〇三(三八六五)一一八四

兵左衛門シヨールム 電話 〇三(三八六五)一一八四

兵左衛門の箸専門店 ほんぼう広尾 電話 〇三(五五四〇)一一八四

兵左衛門 ホテルオークラ東京店 電話 〇三(三五八五)八四一一

酒類・食材問屋(創業明治十年)

辻幸山之内株式会社

山之内株式会社

代表取締役社長 山内 高嘉

東京本社 〒104-0043 東京都中央区湊三丁目三十一番一六 電話 〇三(三五五三)三三五一 FAX 〇三(三五五三)四四六一

北陸営業所 〒91-0066 石川県市川町一丁目二五 電話 〇七六(三三八一)六五七〇 FAX 〇七六(三三八一)〇九七二

日本原子力発電株式会社

安全のために私たちが取り組むこと

安全第を最優先に全社を挙げて品質保証活動に取り組んでいます。社員みずからが、発電所の機器設備の保守点検作業を行うことで、安全性だけでなく、信頼性や技術力の向上を目指しています。

原子力発電は、環境にやさしい電源として未来を継いでまいります。

本店 〒101-0053 東京都千代田区神田美土代町二番地一 http://www.japc.co.jp

一階 本手打ち越前そば

二階 福井ダイニング 個室そば席

うららら

中本好美 (福井市出身)

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町一丁目八二番二階 (日本橋末広ビル二階)

銀座線・半蔵門線 出口B六三〇秒

電話&FAX 〇三(三三三三)一一五八八